

日本ローイング協会（JARA）2020 ビジョン ～ Fostering Oarspersonship ～

JARA 2020 ビジョンとは

JARAが、東京オリンピック・パラリンピックが予定されていた2020年に創立100周年を迎えるにあたり、100周年事業の一環としてビジョンを策定したもの

ビジョン

すべての人に、あらゆるライフステージでローイングの機会を提供することによって、人々の心身の健全な発展と社会の進歩に貢献する

基本理念

1. すべての人に、楽しく安全なローイングの機会を提供する
2. 幅広い選手の育成強化
3. 社会に貢献するオアーズパーソンシップの涵養
4. ローイングを通じて環境保全に貢献する
5. 国際交流を通じて世界平和に貢献する

日本ボート協会2020ビジョン

Japan Rowing Vision 2020



2021年11月

JARAホームページ
から、ぜひ全文を
ご覧ください →





行動指針

1. すべての人に、あらゆるライフステージで、**楽しく安全なローイングの機会を提供**することを通じて、人々の心身の健全な発展と地域の振興に貢献する
2. **ローイングを強化**し、**日本代表の世界での活躍**を通じて人々に勇気と感動を与えるとともに、国際交流を通じて世界平和に貢献する
3. ローイングをより身近なものとし、**オアーズパーソンシップの涵養**を図る
4. **ローイングを通じて環境保全に貢献**する
5. **2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用**する
6. **協会運営、ガバナンス、財政基盤を強化**する



1. ローイングの普及：安全なローイング環境の整備

- (1) 都道府県協会や全国ローイング場所在市町村協議会と連携しローイングを振興する
- (2) ローイングを中心とした総合型地域スポーツクラブを創設・拡充する
- (3) 一般市民参加の地域・市民レガッタなどを振興し、アーバンスポーツ化に対応する
- (4) パラローイングを振興する
- (5) 助言体制を整備する

2. ローイングの強化：日本代表の世界での活躍

- (1) オリンピック・パラリンピック、世界選手権、アジア大会等での選手の挑戦を支援し、サポート体制を整備する
- (2) ローイングに関する国際的な場に積極的に参加し、国際交流を通じて世界平和に貢献する
- (3) アジアにおけるローイング人口の増加を図り、ローイングの普及・認知度向上に貢献する



3. オアーズパーソンシップの涵養

- (1) クルー、コーチ、審判等、様々な人々の支えがあって楽しむことができ、人と水のハーモニーを体感できるローイングを通じての人間形成に貢献する
- (2) 企業スポーツ、学生スポーツとしてのローイングを振興する
- (3) 小学生・中学生と歴代トップアスリートやサポートする人々との交流機会などを設ける
- (4) マスタース層の協会・地域活動や地域スポーツクラブ活動への参加を促進する

4. ローイングを通じて環境保全に貢献

- (1) 国際大会や国内コミュニティの中で、「持続可能な開発」「きれいな水」に関する環境意識の向上を図り、教育・啓発活動を積極的に行う
- (2) 動植物の生息・生育地や生態系の保全ならびに生物多様性の保全に十分配慮する



5. 東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用

- (1) 東京都と連携し、**海の森水上競技場を活用し振興**する
 - ・ 東京に拠点をもたないクラブ、団体へのローイング機会を提供する
 - ・ ローイングに触れたことのない人々を含め、幅広い層が、ローイングを体験できるイベントを開催する
 - ・ 日本ローイング協会、東京都ローイング協会などの主催レースを開催する
 - ・ 企業のローイング・イベントなどでの活用を促進する
 - ・ 地域スポーツクラブ主催のインドアローイング大会、短距離競技会(200-300M, 500M, 1000M)、Training Campsなどを開催する

- (2) World RowingおよびAsian Rowing Federation (ARF)と連携し、**海の森水上競技場をマルチパフォーマンスセンターとして、国際大会、Indoor Rowing大会、アジア・オセアニアを始めとする各国のTraining Camps、デベロップメントセンターとする**



6. 協会運営、ガバナンス、財政基盤を強化

- (1) ビジョン実現へ向けて**協会運営・事務局体制を整備**する
- (2) **ガバナンスコードへの対応**として、役員の女性比率（目標40%）、外部理事比率（目標25%）の向上等を図る
- (3) **スポーツ庁、都道府県の担当部署、日本パラスポーツ協会、スポンサー企業などとの連携を強化**する
- (4) 全日本大学ローイング連盟と連携し、日本学生ローイング連盟の活動を支援するとともに、**学生ローイング界の意見を協会運営に活かす**
- (5) ローイング関係者に限定せず**各界（経済界、政界、官界、マスコミ等）の意見を取り入れるため、アドバイザリーボードを創設**する
- (6) ビジョン実現の前提となる**財政基盤を再建・整備**する
- (7) **事務のIT化**を図り、**情報管理**を強化する

JARA 2020 ビジョン に関するご質問・ご意見等は、以下までお知らせください。

公益社団法人 日本ローイング協会 企画・戦略委員会

Eメール： senryaku@jara.or.jp